

初心運転者(準中型・普通・軽自動車)の起こした交通事故 (5年間・平成25～29年)

1 最近5年間の交通事故発生状況

最近5年間の交通事故発生状況を見ると、初心運転者による人身交通事故は減少傾向であり、昨年の初心運転者による事故は200件で前年対比-81件であり、5年前の半数近くまで減少した。

平成29年の初心運転者が全運転者に占める率は1.54%であるのに対し、初心運転者の事故は全運転者事故の3.70%と免許保有率と比較すると倍以上の高い割合を示す。さらに、全運転者の事故率は0.38%であるのに対し、初心運転者の事故率は0.91%と倍以上の高率であり、初心運転者は事故率が高いことが伺える。

区 分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
初心運転者事故	385	340	297	281	200
全運転者事故に占める率	4.33	4.33	4.21	4.41	3.70
初心運転者数	21,832	21,523	21,543	21,688	21,872
全運転者に占める率	1.54	1.51	1.52	1.53	1.54
初心運転者事故率	1.76	1.58	1.38	1.30	0.91
全運転者事故	8,899	7,854	7,062	6,372	5,412
全運転者数	1,421,633	1,422,931	1,421,716	1,420,115	1,417,211
全運転者事故率	0.63	0.55	0.50	0.45	0.38

注1: 運転者数は各年12月末現在。(県データによる)

注2: 初心運転者数については、平成29年3月12日道路交通法改正による「準中型免許」新設に伴い、改正日前日までは普通免許合格者数を、改正日以降については準中型免許・普通免許合格者数を示す。

注3: 初心運転者・全運転者事故率とは、運転者数100人あたりの事故件数をいう。

注4: 初心運転者事故には、失効後等の1年未満運転者事故を含む。

2 月別発生状況

過去5年間の初心運転者の月別発生状況を見ると、12月、7月・8月の順に発生が多く、特に5月から年末にかけて発生率が平均より高率で、免許取得後、社会人や大学生等になって実際に運転できる時期になってから発生率が高くなっている。

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年	28	31	23	31	35	22	44	44	28	29	33	37	385
平成26年	24	27	28	30	24	29	34	31	30	25	24	34	340
平成27年	30	24	18	19	20	29	24	24	26	31	24	28	297
平成28年	18	19	21	16	33	27	25	29	24	20	23	26	281
平成29年	20	14	18	10	19	16	17	16	10	22	16	22	200
5年間計	120	115	108	106	131	123	144	144	118	127	120	147	1,503
全運転者事故に占める率	3.73	3.81	3.57	3.91	4.55	4.42	5.00	4.86	4.35	4.38	3.93	4.24	4.22

3 初心運転者の男女別

初心運転者事故を男女別にみると、全運転者事故と初心運転者事故で発生率に大きな違いはみられないが、初心運転者の普通・準中型免許保有者数は男女比率がほぼ半々であることから考えると、男性の構成率(63.7%)は高いといえる。

性 別	人 身 事 故 件 数				普 通 ・ 準 中 型 免 許 保 有 者 数				免 許 保 有 者 1000 人 当 たり の 人 身 事 故 件 数	
	初心運転者事故		全運転者事故		初心免許保有者		全免許保有者		初心運転者	全運転者
	構成率		構成率		構成率		構成率			
男 性	957	63.7	22,511	63.2	56,223	51.8	3,810,783	53.6	17.0	5.9
女 性	546	36.3	13,088	36.8	52,235	48.2	3,292,823	46.4	10.5	4.0
合 計	1,503	100.0	35,599	100.0	108,458	100.0	7,103,606	100.0	13.9	5.0

4 初心運転者の原因別

初心運転者事故を原因別に分析すると、信号無視、最高速度違反等、若者の無理な運転での事故の発生率が特に高いほか、ブレーキ等操作不適や前方不注視である漫然運転や脇見運転での事故も目立つ。初心運転者は運転不慣れな割に、スピードの出し過ぎや、無理な運転をする傾向が見られる。

原因別	初心運転者事故						全運転者事故	
	計	構成率	男性	構成率	女性	構成率	計	構成率
信号無視	90	6.0%	61	6.4%	29	5.3%	1,496	4.2%
通行区分	12	0.8%	9	0.9%	3	0.5%	157	0.4%
最高速度違反	32	2.1%	30	3.1%	2	0.4%	272	0.8%
追越し違反	6	0.4%	3	0.3%	3	0.5%	251	0.7%
横断・転回禁止違反	39	2.6%	28	2.9%	11	2.0%	1,369	3.8%
右・左折違反	11	0.7%	8	0.8%	3	0.5%	303	0.9%
歩行者妨害等	19	1.3%	8	0.8%	11	2.0%	821	2.3%
優先通行妨害	129	8.6%	70	7.3%	59	10.8%	3,106	8.7%
交差点安全通行	69	4.6%	39	4.1%	30	5.5%	3,032	8.5%
一時停止違反	129	8.6%	78	8.2%	51	9.3%	3,172	8.9%
交差点の徐行	23	1.5%	15	1.6%	8	1.5%	1,069	3.0%
安全運転	106	7.1%	65	6.8%	41	7.5%	2,074	5.8%
ブレーキ等操作不適	386	25.7%	256	26.8%	130	23.8%	8,146	22.9%
脇見運転	262	17.4%	163	17.0%	99	18.1%	5,204	14.6%
漫然運転	151	10.0%	96	10.0%	55	10.1%	4,346	12.2%
その他	39	2.6%	28	2.9%	11	2.0%	781	2.2%
合計	1,503	100.0%	957	100.0%	546	100.0%	35,599	100.0%
飲酒運転	13	0.9%	10	1.0%	3	0.5%	366	1.0%

5 初心運転者の事故類型別

初心運転者事故の事故類型を分析すると、スピードの出し過ぎや運転未熟による対向車線にはみ出での正面衝突事故が4.6%と全事故と比較して1.7ポイント高いほか、単独事故も目立つ。また、前方不注視等による追突事故も7.0ポイント高く、これらは初心者が起こしやすい事故特徴と考えられる。

事故類型別	初心運転者事故						全運転者事故		
	計	構成率	男性	構成率	女性	構成率	計	構成率	
人対車	横断歩道横断	15	1.0	6	0.6	9	1.6	697	2.0
	その他横断	16	1.1	10	1.0	6	1.1	879	2.5
	その他	22	1.5	16	1.7	6	1.1	1,178	3.3
	小計	53	3.5	32	3.3	21	3.8	2,754	7.7
車両相互	正面衝突	69	4.6	52	5.4	17	3.1	1,033	2.9
	追突	752	50.0	469	49.0	283	51.8	15,304	43.0
	出会頭衝突	298	19.8	182	19.0	116	21.2	8,177	23.0
	右左折衝突	182	12.1	113	11.8	69	12.6	4,842	13.6
	その他	96	6.4	66	6.9	30	5.5	2,581	7.3
	小計	1,397	92.9	882	92.2	515	94.3	31,937	89.7
単独事故	52	3.5	43	4.5	9	1.6	905	2.5	
踏切	1	-	-	-	1	0.2	3	0.0	
合計	1,503	100.0	957	100.0	546	100.0	35,599	100.0	